

平成28年度地方創生関連交付金に係る事業実施結果

| No | ① 交付対象事業の名称 | ② 事業の概要 | ③ 実績額 単位:円 | ④ 本事業における重要業績評価指標(KPI) | | | ⑤ 本事業終了後における実績値 | | ⑥ 外部有識者からの評価 | | ⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|----------------------------------|--|---|------------------|---------------------------|-------|----|--------------------|----------------|-----------------|---|------------------------|---|
| | | | | 指標 | 指標値 | 単位 | 実績値 | 事業効果 (選択方式) | 事業の評価 (選択方式) | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 (選択方式) | 今後の方針の理由 |
| 1 | 三市(ひたちなか市・日立市・常陸太田市)連携デジタルものづくり拠点化事業【広域連携事業】 (地方創生加速化交付金) | (1)デジタルものづくり人材育成事業 3D-CADソフトの使い方講座、3Dプリンターを利用した製品開発講座等 (2)大手企業と中核中小企業間のデジタル設計データやり取りのIoT化へ向けた取り組み (3)新たな労働スタイルの確立と地方創生を実現する雇用の創出 | 18,492,651 | 指標① 製品開発製造日数の短縮 | 10 | % | 60 | 非常に効果的であった | 地方創生に有効であった | 交付金を初期導入費用に活用できたこと、デジタルものづくり促進のカンフル剤となったことから地方創生に有効であった。 | 事業を継続させる | 当該事業の初期導入経費に交付金を活用できたため、平成29年度以降は実施主体である㈱ひたちなかテクノセンターが事業を継続させている。 |
| 指標② 3D-CAD講座資格認定者数 | 8 | 名 | 3 | | | | | | | | | |
| 指標③ 中核中小企業売上アップ | 15 | % | 14 | | | | | | | | | |
| 指標④ 中核中小企業の新規雇用者数 | 8 | 名 | 25 | | | | | | | | | |
| 2 | 魅せる「ひたちらしさ」体感事業による中小企業活性化と人材確保 (地方創生加速化交付金) | (1)見て体験するものづくり都市「日立市」への理解の深化、中小企業の受注拡大、人材確保 (2)ものづくりインターンシップ (3)ものづくり都市「日立市」の「みえる化」と産業集積形成背景のプロモーション | 14,201,821 | 指標① 参加企業への就業者数または転入者数 | 1 | 人 | 0 | 効果があった | 地方創生に有効であった | 参加者数等について、様々な大学の参加が増え、参加人数だけではなく大学の数も増えることが望ましい。参加者には企業を見せるだけではなく、日立市にはオフが近くにあるということも伝えてほしい。 職業ではなく、地元に戻るといった地域で選択する学生もいると思う。そのような視点で雇用の相談を受けられるとよい。 | 事業を更に発展させる | 指標値に関して、補助申請時(6月)には、事業期間を6か月とし見込んでいたが、8月末の事業採択(交付決定)後の事業着手となり、実質4か月程度の事業期間となったため、低い達成率となった。 しかしながら、東京方面への広報や大学との調整を行い、次年度以降に事業をつなげる見通しを得ることができた。 今後は、専門事業者への委託などを検討することにより、大学生だけでなく一般求職者に対するPRを強化していく。 |
| 指標② 東京圏からのツアー参加者数及びインターンシップ参加学生数 | 100 | 人 | 37 | | | | | | | | | |
| 指標③ オーダーメイド型ツーリズム参加企業数 | 15 | 社 | 8 | | | | | | | | | |
| 3 | 魅せる「ひたちらしさ」体感事業と「働き方改革」による中小企業活性化と人材確保事業 (地方創生推進交付金) | 上記No2の拡充・後継事業 (1)見て体験するものづくり都市「日立市」への理解の深化、中小企業の受注拡大、人材確保 (2)ものづくりインターンシップ (3)ものづくり都市「日立市」の「みえる化」と産業集積形成背景のプロモーション (4)中小企業における働き方改革の促進【加速化交付金事業の拡充】 | 636,327 | 指標① 参加企業への就業者数または転入者数 | 1 | 人 | 0 | 効果があった | 地方創生に有効であった | 平成28年度の事業結果としては、今後に活かせる活動であった。 | 事業を更に発展させる | 指標値は、「地方創生加速化交付金」の対象事業として採択されている「魅せる『ひたちらしさ』体感事業による中小企業活性化と人材確保」と共通であるが、平成28年度の本事業においては、国の進める「働き方改革」を実現するため、市内企業に効果的な啓発・広報を行うことができた。 引き続き、生活スタイルの変化に伴う働き方の多様化に対応し、雇用の確保とより良い就業環境の改善を図るため、中小企業者に向けた意識改革を推進する。 |
| 指標② 東京圏からのツアー参加者数及びインターンシップ参加学生数 | 100 | 人 | 37 | | | | | | | | | |
| 指標③ オーダーメイド型ツーリズム参加企業数 | 15 | 社 | 8 | | | | | | | | | |
| 4 | ひたちBRTによるコンパクトシティ形成事業 (地方創生推進交付金) | (1)全国でも先駆的な取組であるひたちBRTを活用した公共交通ネットワークの充実を図る事業 (2)ひたちBRT沿線への居住を促進するなど、将来に向けたコンパクトな都市構造とするための事業 | 1,404,000 | 指標① ひたちBRT利用者増加数 | 6,000 | 人 | 13,181 | 非常に効果的であった | 地方創生に有効であった | コンパクトシティという言葉には集積という意味で弊害となることもある。丁寧に説明をする必要がある。 コンパクトシティ形成を全面的に進めるのではなく、日立市らしいものを考えてほしい。 | 事業を更に発展させる | 現在、ひたちBRT第Ⅱ期工事を実施中であり、運行開始後の沿線のコンパクトシティ形成を図るため、沿線の土地利用調査を実施した。 ひたちBRT第Ⅱ期の運行開始を見据え、利用者増及び沿線への定住促進に向け必要な施策を推進していく。 |
| 指標② 沿線住居着工増加数 | 0 | 件 | — | | | | | | | | | |